

パワー・トゥ・ザ・ピープル

グローバルからローカルへ



制作：VPRO 監督：サビーヌ・ルッペ・バツカー 配給：ユナイテッドピープル オランダ / 2012年 / 49分
unitedpeople.jp/p2p vpro UNITED PEOPLES



イラスト：工岡まる

県大 SDGs シネマ

In 湖風祭

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

#12 - Nov. 2019

パワー・トゥ・ザ・ピープル

グローバルからローカルへ

日時： 11月9日(土), 10日(日)

🕒 1回目 13:00 ▶ 14:00

2回目 15:30 ▶ 16:30

場所： 滋賀県立大学

A4棟 視聴覚室(A4-105)

(内側の地図をご参照ください)

📞 お問い合わせ先

TEL: 0749-28-9851

FAX: 0749-28-0220

地域共生センター (谷口)

参加費： 無料 《一般の方もご参加いただけます》



■ 上映作品の紹介

『パワー・トゥ・ザ・ピープル ~グローバルからローカルへ~』

人口4200人のサムソ島は、本土の電力会社を通さずに電力を確保するため、海上風力発電と太陽光による自家発電を取り入れているほか、農業中心の土地柄を利用してバイオマスやバイオ燃料を製造しています。その結果、余剰電力を売って利益を得ることができています。

オランダのテセル島でもサムソ島のような取り組みが始まっています。エネルギー協同組合を設立し、再生可能エネルギーの生産に島民を参加させ電力の自給自足を目指しているのです。さらにオランダでは、顔の見える住民同士が大企業に頼らず、自分たちで運営するグループ保険『ブラッド基金』が広がりを見せています。この基金は、地域住民がお金を出し合い、困ったときに資金を融通する住民同士の信頼に基づいた保険です。

本作のナビゲーターは、第三次産業革命の提唱者のジェレミー・リフキン。彼は欧州委員会、メルケル独首相をはじめ、世界各国の首脳・政府高官のアドバイザーを努めているエネルギー革命のキーパーソンで、分散型の再生可能エネルギーとネットの融合で、資本主義と共産主義の良い点を取り入れた、持続可能な新たな経済システム、分散型資本主義へと移行できると訴えています。

「大きな社会」から、顔の見える「小さな社会」へ、グローバルからローカルへ。大手電力会社に頼らず自らエネルギーを創出する住民グループたち、大手保険会社ではなく、顔の見える者同士がお金を出しあって作った基金など、新しい経済システムへ移行が始まっています。

地域でお金もエネルギーも循環し、人々が生き活きと自らのエネルギーを活かして働く様子が描かれています。まさに、パワー・トゥ・ザ・ピープル。人々に電力を！人々に力を！市民が主導権を握る、新たな時代へようこそ！

監督：サビーヌ・ルッベ・バック

出演：マーヤン・ミネスマソーレン・ハーマンセン ジェレミー・リフキン

制作：VPRO

配給：ユニテッドピープル

原題：Power to the People

制作年：2012年

制作国：オランダ

上映時間：49分

(ユニテッドピープル 映画紹介資料より)

■ 県大 SDGs シネマ について

滋賀県立大学では持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた活動を行っています。SDGsに取り組もうとするときに、何から手をつけるべきでしょうか？私たちは、まず現在の社会にある課題を知り、多様な視座からその課題を捉えることが大切だと考えました。そこで様々な社会課題に触れ、周りの人たちと感想や意見を共有する機会をつくるため、1-2カ月に一度、県大キャンパス内で映画の上映会を開催することにしました。上映後には参加者同士で映画の感想や意見交換をする時間も取りたいと思います。皆さんがこの上映会で社会課題に対して新たな問題意識を発見し、次の一歩を踏み出すきっかけになれば幸いです。

■ 上映場所のご案内

A4棟 1階 視聴覚室
(A4-105 下図★)

🚌 バスをご利用の方

《1回目》

(行き) 南彦根駅西口 12:20発 → 県立大学 12:37着

(帰り) 県立大学 14:35発 → 南彦根駅西口 14:48着

《2回目》

(行き) 南彦根駅西口 15:00発 → 県立大学 15:13着

(帰り) 県立大学 17:00発 → 南彦根駅西口 17:17着

*当日は学祭開催中のため駐車場がご利用いただけません。公共交通機関のご利用をお願い致します。

